

令和8年4月23日（木） 保護者会全体会（ティームス放送）校長より

本日はお忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。今年度初めての全校保護者会ですので、校長から学校経営方針についてお話します。

今年度から矢切小に校長として赴任しました。32年前には、担任として平成元年度から6年間在籍していました。矢切地域の皆様の3世代にわたり、当時の保護者、教え子、そして教え子の子どもと再会することになり、懐かしさを感じています。38年間の教育実践を矢切小の子どもたちの成長のために少しでも生かせることを嬉しく思っています。

それでは、令和8年度学校経営計画（グランドデザイン）の資料をご覧ください。今年度の矢切小学校の学校教育目標は、「**子ども主体の学校 やさしく かしこく たくましく**」です。

この学校教育目標は、従来の徳育・知育・体育を並列した学校教育目標 やさしく・かしこく・たくましくに、学校の主役は子どもたちであり、学校は子どもたちのために建てられているという学校の目的を加えたものです。

1学期の始業式で、最初に子どもたちに伝えたように学校は子どもたちが主役であり、子どもたちが主人公になれる、だからこそ、子どもたちが進んでがんばる学校にしたいと思っています。また、令和7年度の学校評価や学校選択制の理由、学力テスト、松戸市体力特級章の結果等を分析し、明るく、素直で、健康的だけでなく、自己表現力が控えめで粘り強さに欠けるという矢切小の子どもたちをより成長させることができるようにプロジェクトを始めていきます。先生方はそれを支援していきます。

「めざす学校像」と「めざす教師像」は、私の考えで全面リニューアルしてあります。お時間のある時にお読みください。「めざす児童像」には、具体的な実施予定の施策が記載されております。これは計画ですので実施しながらの変更もあります。指導と評価の一体化という観点から言うと、年度末の学校評価は、この具体策が、どの程度達成されたかを問う形に変えます。

そして、矢切小の伝統である稲作活動や矢切囃子など地域に根ざした文化・芸術、矢切特別支援学校との交流、ボランティアのみなさんによる読み聞かせ等を体験することは、子どもたちにとって、情操を育み、非認知能力（意欲・自己肯定感・忍耐力・対応力等）を高めるものと思っています。保護者の皆様との連携と共に地域の皆様との連携も矢切小の偉大な宝物であると思います。

今年度は、明るく、素直で、健康的な矢切小の児童が、より元気で活気があり、学校が楽しいと思えるように、さらに行動することによって楽しく豊かな学びが得られるよう（為すことによって学ぶ）にしていきたいと思っています。

その他

1. 「学力向上プロジェクト」音読大賞・かけ算大賞、「体力向上プロジェクト」松戸市特級体力章・種目別体力章（鉄棒逆上がり、なわとび3種目、50m走、ボール投げ、立ち幅跳び）を行う予定です。
2. 家庭・地域・PTAとの「共育」ということで、「挨拶や返事」「いじめをしないで、人には親切に」「清掃の充実」「廊下歩行」「上履きを忘れない」など基本的な生活習慣を重視します。ご家庭でもお子さんの話をよく聞いてあげてください。
3. 学校からの情報発信の場として、スクリーンでお便り等を配信しています。HPで日々の様子を毎日更新していますのでご覧ください。